

研究成果の紹介

レタス収穫後のマルチ・トンネルを利用した寒玉系キャベツの4、5月どり栽培

アブラナ科作物には、レタスビッグベイン病を媒介する糸状菌の活動を抑制する働きがある。そこで、輪作作物としてレタス収穫後のトンネルを利用した寒玉系キャベツの4、5月端境期どりに適する品種を検討した。その結果、「YR-春空」、「N-0553」、「YR-天空」、「さつき女王」、「SE」は4月下旬から5月上旬収穫となり収量・品質に優れた。

内容

キャベツ11品種をレタス収穫後のマルチ・トンネルを利用して1月8日に定植した(図・写真1)。「YR-春空」、「N-0553」は、収穫が4月28日と早く、結球重は1,195g、1,068gとやや小玉であった。「YR-天空」、「さつき女王」、「SE」は、収穫が5月5～8日とやや遅れたが、結球重は1,409g、1,305g、1,504g、球緊度は0.65以上と葉が良く詰まり優れた。「さつき王」、「初恋」は、収穫は早かったが、花芽分化が進み本作型には適さなかった(表・写真2)。

各品種の栽培特性

| 品種名 | 収穫日 | 結球重 | 球緊度 | 花芽分化率 | 総合評価 |
|---------|-----|-----|-----|-------|------|
| YR-春空 | 4/下 | △ | ○ | ○ | ○ |
| N-0553 | 4/下 | △ | △ | ○ | ○ |
| さつき王 | 4/下 | × | △ | × | × |
| 初恋 | 4/下 | × | × | × | × |
| YR-天空 | 5/上 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| さつき女王 | 5/上 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SE | 5/上 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 彩里 | 5/上 | ○ | ○ | × | × |
| 実 | 5/上 | △ | × | △ | × |
| 新産 | 5/上 | × | × | × | × |
| SKT-323 | 5/中 | ○ | ○ | △ | × |

収穫日:4/下:4月28日、5/上:5月5～8日、5/中:5月19日

結球重: :1,510～1,300g、 :1,299～1,000g、 x:999～870g

球緊度(結球重/球体積): :0.69～0.65、 :0.64～0.60、 x:0.59～0.49

花芽分化率: :0%、 :1～40%、 x:41～100%

今後の方針

マルチの有無や不織布を作物に直接掛け保温するべた掛け栽培との比較、年次による気象の影響を引き続き検討する。

小林 尚司(淡路農技 農業部)

(問い合わせ先 電話:0799-42-4880)



写真1 マルチ・トンネル内定植後の生育



写真2 「YR-春空」の収穫

| 品目 | 作型 | 9月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
|------|--------|----|--------|-------|----|--------|------|--------|------|---|-----|
| レタス | 年内穫り | ○ |▲ | ————— | ◡ | ◡ | ○:播種 | ◡:トンネル | ◡:収穫 | | |
| キャベツ | 4,5月穫り | | | 11/20 | ○ |▲ | 1/8 | ◡ | ◡ | ◡ | 4/8 |

レタス収穫後のマルチ・トンネルを利用したキャベツ栽培

播種:2008年11月20日(128穴セル育苗) 定植:2009年1月8日、トンネル:定植後から被覆し4月8日に除去

畝幅:130cm、株間:35cm(2条植え) 栽植密度:4,400株/10a

施肥方法:定植時に複合硝基加安(15-10-10)22gを各株元に穴肥施用

定植後50日後に同量を株間に、80日後に窒素加里化成(18-0-18)18gを2株おきに株間に穴肥施用